

自社の養殖真鯛を活用した水産加工事業への参入計画

売上拡大

地域資源活用
事業計画策定
施策活用

企業名

丸寿海産 株式会社

企業
プロフィール

【業種】 卸売業、食料品製造業
【代表者】 代表取締役 山下 二也 氏
【創業年】 平成2年
【従業員数】 50名
【URL】 <https://www.maruhisa.jp/>



事業の現状と
相談のきっかけ

自社商品の量産化と補助金を活用した新規設備導入

- ・長年、養殖魚を販売
- ・新規事業の自社養殖真鯛を活用した、鯛めしの素（紀州みやび鯛ごはんの素）を開発、製造・販売事業の計画を進め、試作品は完成していた。
- ・必要な製造設備がなく、量産化・売上拡大がネックとなっていた。
- ・補助金を活用した新規設備導入の相談があった。

ヒアリングによる
課題の整理

事業計画・組織体制づくり、ターゲットとPRポイントの明確化

- ・異業種参入における綿密な事業計画の作成。
- ・製造販売業務における具体的な役割分担、組織づくり。
- ・製造・売上の目標設定とターゲット層の明確化
- ・対消費者PRポイントと競合商品に対する優位性の明確化。

課題解決の
提案・アドバイス

総合的な事業計画立案と補助金活用

- ・みえ熊野古道商工会と連携した事業計画策定支援。
- ・総合的な事業計画の立案と三重県版経営革新計画の並行作成。
- ・統計資料等による長期的な指針と事業計画で補助金申請し、新規設備の導入をアドバイス。

取組内容と成果

生産設備導入による商品の一貫生産体制の確立と本格販売による事業成長への期待

- 施策の活用
事業計画策定による組織役割分担、生産体制の数値化、対象市場の把握に努め、「経営革新計画」「平成30年度 ものづくり補助金・商業・サービス生産性向上促進補助金」の採択された。
- 商品の量産化
・生産設備の導入効果による「紀州みやび鯛ごはんの素」の一貫生産の実現
- ・地元「始神テラス」を中心とした本格販売開始
- ・商品特有の希少性高評価と百貨店等で取扱される等、新たな成長部門として期待
- プロモーションに向けた取り組み
令和1年11月 三重セクション商品に選定される。
- 事業の安定化に向けた取り組み
地元商工会と連携支援を継続し、松阪市の支援制度も活用しながら、事業の安定化を目指していく。

事業者の声

事業計画の作成については経験も浅く、不安な面もありましたが、サポートを受ける事が出来ました。本社の所在地が、遠方という事もありますが、訪問・メール相談などを通じて継続的に支援を受ける事が出来ました。



紀州みやび鯛ごはんの素

コーディネーターより

よろず支援拠点 まつさかサテライト
石倉 豊生